

〈一般会計〉

収入の部

単位：円

科 目	第67回予算額	決 算 額	増 減	摘 要
繰越金	480,553	480,553	0	第66回展繰越金
出品料	1,772,000	1,864,000	92,000	公募 (一般5,000円×239人・会員3,000円×163人)、 審査会員・会友(2,000円×90人)
返却料	464,000	522,000	58,000	公募 (一般2,000円×118人・会員1,000円×133人)、 審査会員・会友(3,000円×51人)
協賛金	60,000	0	△60,000	*道新文化センター、ニトリホール ディングスに申請中
分担金	1,200,000	1,200,000	0	道新より
繰入金	250,000	250,000	0	道写協より
雑収入	47	1	△46	銀行利息
収入合計	4,226,600	4,316,554	89,954	

支出の部

科 目	第67回予算額	決 算 額	増 減	摘 要 千円未満切り捨て
印刷費	250,000	181,190	△68,810	応募要項10万、広告掲載データ1万 6千、募集ポスター1万3千、案内状 (7,000部2回分)4万2千、他 *入賞入選名簿 他
会場費	1,250,000	119,600	△1,130,400	市民ギャラリー施設利用料8万7千、審 査会会場費6千、1席プリント代2万6千 *公募、審査会員・会友展示費・保管 料 他
通信費	470,000	217,646	△252,354	選外作品返却郵送料8万1千、要項郵送 料4万、諸連絡通信費①9万 *諸連絡通信費②、審査会員・会友作品 返却料、入賞入選賞状盾など郵送料 他
会議費	300,000	138,573	△161,427	審査会弁当・飲み物代4万6千、審査会 お弁当代4万、審査会準備宿泊代3万2 千、昼食代1万3千、お茶代①5千、他 *お茶代② 他
交通費	450,000	244,730	△205,270	審査会交通費2万2千、実行委員会交通費 4万4千、審査会準備交通費8万、要項発 送作業交通費2万2千、作品受付交通費2 万1千、成績通知交通費1万1千、作品返却 交通費1万、係打合せ交通費1万5千、他 *当番・展示作業・係打合せ交通費
表彰費	390,000	0	△390,000	*公募表彰物一式、賞状印刷揮毫料 他
人件費	528,000	651,000	123,000	バイト代43万(作品受付、審査会、返 却作業、成績通知、連絡調整費)、招待 審査員審査料20万円、諸連絡費2万
雑費	100,000	71,138	△28,862	事務用品費6万8千、振込み手数料2千、他 *事務用品・振込手数料② 他
予備費	288,600	0	△288,600	
積立金	100,000	0	△100,000	
広告料	100,000	100,000	0	新聞広告掲載料
次年度繰越金	0	2,592,677	2,592,677	
支出合計	4,226,600	4,316,554	89,954	

*下線付き項目は次年度の支払い

令和元年度 道写協会 会計決算報告

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
http://www.doshakyo.org/

第143号

総会(代表者会議)について

会長 中野 潤子

昨年12月に臨時支部長会議で、総会(代表者会議)を7月実施と決めましたが、コロナ感染拡大のため、総会の中止を3月に決定しました。代表者会議構成員の皆さんに、19年度事業報告、会計決算報告及び20年度事業案、会計予算案などに限って議案書をまとめ、文書でご承認をいただきました。

〈一般会計〉
収入の部

令和2年7月1日～令和3年6月30日

単位：円

科 目	令和元年度 決算額	予 算 額	増 減	備 考
繰越金	267,973	129,564	-138,409	繰越金の予算額は暫定予算・決算書より
年会費	1,687,000	1,663,000	-24,000	会員280人、会友61人、審査会員41人
入会金	39,000	30,000	-9,000	新入会者20人×1,500円
登録料	75,000	75,000	0	会友3人、審査会員1人
諸収入	4	4	0	利息
合 計	2,068,977	1,897,568	-171,409	

令和2年度
道写協会会計予算

支出の部

科 目	令和元年度 決算額	予 算 額	増 減	備 考
事業費	454,066	470,000	15,934	道展巡回展230千円、保管料100千円、年度賞盾代120千円
印刷費	220,480	250,000	29,520	会報印刷費3回200千円、各種資料印刷費50千円
会議費	425,328	430,000	4,672	代表者会議費250千円、役員会議費150千円
人件費	27,000	30,000	3,000	ホームページ管理費
旅 費	317,590	330,000	12,410	役員会、各種打合せ会議旅費300千円、審査員派遣費30千円
通信費	60,336	100,000	39,664	メール便、切手代(各支部宛て)
事務費	105,694	120,000	14,306	コピー用紙等事務用品代
慶弔費	10,000	20,000	10,000	
雑 費	7,226	47,568	40,342	振込手数料等
積立金	0	100,000	100,000	写真道展記念事業積立金
予備費	0	0	0	
繰出金	250,000	0	-250,000	
次年度繰越金	191,257	0	-191,257	
合 計	2,068,977	1,897,568	-171,409	

★支部解散
美唄支部

難波 江 (札幌支部) 7月承認
原 禎子 (札幌支部) 7月承認
笠水上敏明 (苫小牧支部) 7月承認
久留嶋誠悦 (苫小牧支部) 7月承認
松葉 師正 (留萌支部) 5月承認
城 伊志勝 (札幌支部) 2月承認

★新会友

★新審査会員
壬生 賢哉 (苫小牧支部) 7月承認

■お知らせ

一、これまで写真道展の募集要項では第4部を除き、応募可能な作品の点数を「各部門10点以内」としてきましたが、第68回写真道展から「各部門5点以内」に変更します。応募にあたってご注意ください。

二、「審査会員・会友展」の額装作品の返却料(希望者)は68回展から税込みで3,300円とします。

※応募要項に変更があります

・受付(2021年2月1日～10日)
・審査会(2021年2月27日、28日)
・写真展(2021年5月11日～16日)
於札幌市民ギャラリー

第68回写真道展について

北海道写真協会役員

- ・ 会長 菅原 淳
- ・ 副会長 加藤 利器
- ・ 協会認定書発行、支部年度賞状発注 武藤 省吾
- ・ 理事 中野 潤子
- ・ 議事録、連絡網 西澤 実
- ・ 田嶋 英夫
- ・ 会務委員 山下 智
- ・ 写真道展審査係、審査員派遣 瀧野 邦保
- ・ 写真道展審査係、新会員受付 川原 静雄
- ・ 会報(支部例会成績)、写真道展巡回展 香取 征子
- ・ 会計全般、名簿管理 河江 利幸
- ・ 会報全般 福島 恵里
- ・ 事務局長 小関 草太
- ・ 事務局次長 水野 信治
- ・ 事務局 壬生 賢哉
- ・ 監査委員

写真道展実行委員

- ・ 瀧野 邦保(実行委員長・審査・作品)
- ・ 大平 博雄(作品展・審査)
- ・ 山下 智(審査)
- ・ 小室 博子(会計・作品)
- ・ 五東 建夫(作品集・作品展)
- ・ 中野 芳生(表彰・作品)
- ・ 衰田 祥健(総務・表彰)
- ・ 安田 敏彦(表彰・作品集)
- ・ 秋山 寿子(表彰・作品集)
- ・ 上田 正洋(作品展・作品)
- ・ 澤田 一夫(作品集・作品展)
- ・ 山岡 勝(総務・作品展)
- ・ 見野 則幸(総務・作品展)
- ・ 浦崎 毅子(表彰・作品集)
- ・ 増田 輝敏(作品・審査)
- ・ 福島 恵里・小関 草太・中野 潤子

第67回写真道展無事開催

7月28日～8月2日
初会場の札幌市民ギャラリーで、しっかりとコロナ対策を取り開催。約1600人の来場者があり、無事終わることができました。



市民ギャラリー入口の看板

☆初めての嬉しい光景☆

会場近くの小学生が、先生引率で見学に来てくれました!



会場内のスナップ

フォトエッセイ

心象風景

中野 潤子

3年前のことである。テレビでは京都の紅葉の見事さを報じていた。それを見ているうちに突如、東福寺を訪れることを思いついた。

京都駅に着くと目的地にタクシーで直行。紅葉の盛りの東福寺は、その紅葉の葉の数ほどのたくさんの人で満ちていた。人並みに圧倒されて疲労を感じ、入り口近くに出てきた時、国宝の大きな山門の前にある蓮池が目止まった。思わず駆け寄る。今はすっかり枯れた蓮が、刈り取られずにその名残を池いっばいに広げていた。その光景に心を奪われ撮っているうちに、「こんな汚いもの撮ってどうするの。花が咲いている時はそれは見事だよ。」と地元の人が声をかける。私は返事もせず夢中でシャッターを押し続けた。翌日も翌々日も開門から閉門まで、ひたすらにこの池を撮り続けた。撮り続けているうちに、不思議なことに枯れた蓮の中に咲き誇る蓮が見え始めた。陽の移り変わりや露出を変えるにつれて、心に映る蓮は鮮明になっていく。

帰宅して東福寺の蓮池の心象風景の再現を試みた。

それが65、66回展に発表された作品である。まだまだ私の心に残る蓮池の風景に近づけない。これからがスタートである。



大崎 和男さん個展



世の中コロナ禍が収束せず閉塞感漂っている中、一息ついて下さればと願って、大崎和男写真展『狩勝峠』を開きました。昔々蒸気機関車を運転しているとき、トンネルから出た時の十勝平野の日の出は仕事の労苦を忘れるほどの光景でした。

この時、道東の玄関口狩勝峠を取めたいと思いました。当時はオートバイも車もない時代なかなか撮りに行けない状況でしたが、二輪車が手に入った昭和30年代の後半、その頃から狩勝峠はお友達です。

他に見られないオレンジに輝くサンピラーはこの峠の特徴と言えます。また刻々と変わる雲海は撮影するときの醍醐味です。

50年以上撮り続けた中から44枚展示しました。コロナで乾いた空気の中、沢山の方の来場を頂き感謝です。



北海道新聞提供

支部例会成績

札幌 支部長 難波 江

▽7月例会(17日) 中野潤子審査会員選考)
①脇田健司②梅澤勇二③米澤三千代④安田敏彦⑤今明美⑥掛村一憲⑦飯高光紀⑧林繁造⑨千葉久⑩渡辺勝
▽8月例会(21日) 河江利幸審査会員選考)
①梅澤勇二



8月例会1位「黒の滑り台」 カラー 梅澤勇二

- ②今明美
③林繁造
④渡辺勝
⑤見野則幸
⑥浦崎毅子
⑦安田敏彦
⑧千葉久
⑨米澤三千代
⑩掛村一憲

▽9月例会(18日) 武藤省吾道写協顧問選考)



9月例会1位「瀧安寺の石庭?」 カラー 見野則幸

- ①見野則幸
②掛村一憲
③安田敏彦
④今明美
⑤米澤三千代
⑥梅澤勇二
⑦浦崎毅子
⑧飯高光紀
⑨千葉久
⑩林繁造

室蘭 支部長 佐々木昇

▽7月例会(31日) 山下智審査会員選考)
①鳥海政史②齋藤ますみ・成田正利③鳴海明・田村謙次・齋藤ますみ(入選) 蒲野進2点・今井富夫2点・栃元幸一・尾形和雄・吉井良平・大坪恵子・太田秀

岩見沢 支部長 鈴木佳夫

▽7月例会(8日) 審査互選)
①③岩井郁美②⑤上口建作④伊藤博章⑤山崎正義
▽8月例会(12日) 審査互選)
①中川昌子②木村克己③中神由美子・岩井郁美⑤鈴木佳夫
▽9月例会(9日) 審査互選)
①中川昌子②④上口建作③木村克己④植野紘一

恵庭 支部長 西澤 實

▽7月例会(13日) 審査互選)
①吉村登美子②佐野ミヨ・神能俊行④菅原恵子・加藤憲秋⑥菅井正俊⑦坂田一紀・田中康夫・中岡正美・中村忠司
▽8月例会(10日) 審査互選)
①神能俊行②菅原恵子③村井正人④中村征子⑤加藤憲秋・吉村剛⑦吉村登美子・田中康夫⑨五東建夫
▽9月例会(14日) 選考互選)
①佐野ミヨ②中村忠司③吉村剛・西澤實⑤神能俊行・中岡正美・菅原恵子⑧坂田一紀

釧路 支部長 石川 隆

▽7月例会(9日) 奥野時夫審査会員選考)
①松坂正彦②蝦名昇③水野敏幸④片平信之⑤佐々木せつ子⑥浅海信一
▽9月例会(10日) 高橋和幸審査会員選考)



7月例会1位「妖怪M」 カラー 松坂正彦

- ①橋本憲一
②水野敏幸
③鈴木啓司郎
④佐々木せつ子
⑤中嶋淳一
⑥高橋米子

旭川 支部長 白鳥敏昭

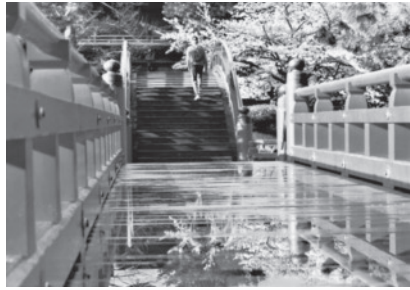
▽7月例会(9日) 日本實審査会員選考)
(特選) ①③森田正義②佐藤繁雅④小山満⑤佐藤祐子(入選) 草野美穂・宮崎哲夫・佐藤繁雅・佐藤祐子・坪井秀樹ほか
▽8月例会(6日) 馬場和美審査会員選考)
(特選) ①③山本義則②④小山満⑤吉田清治郎(入選) 池永靖子2点・小山満・佐藤繁雅・添田裕子2点・吉田清治郎ほか
▽9月例会(10日) 福田光男審査会員選考)
(特選) ①小山満②③山本義則④森田正義⑤佐藤祐子(入選) 池永靖子・添田裕子2点・上平秀美・山崎巖・佐藤祐子ほか



9月例会1位「無邪気に遊ぶ」 カラー 小山 満

小樽 支部長 高橋省三

▽7月例会(8日) 川原静雄審査会員選考)



7月例会1位「心澄む」 カラー 根本辰男

- ①根本辰男
②北宏保
③小林好江
④一條周一
⑤西谷敏也

写真展のお知らせ

※北海道写真協会 旭川支部 写真展
期間 令和2年11月17日(火)〜11月22日(日)
時間 午前11時〜午後5時
場所 旭川デザインギャラリー(旭川市宮下11丁目)
支部会員の作品80点展示予定

※北海道写真協会 旭川支部 会友3人展(阿部三重子・伊藤勝利・白鳥敏昭 各25点展示)
期間 令和2年11月24日(火)〜11月29日(日)
時間 午前11時〜午後5時
場所 旭川デザインギャラリー(旭川市宮下11丁目)
第67回写真道展 旭川支部会員の入賞・入選作品 同時展示

※北海道写真協会 釧路支部 創立60周年記念写真展
テーマ 道東の四季
期間 令和2年12月2日(水)〜12月6日(日)
時間 午前10時〜午後6時(6日は午後5時まで)
場所 釧路市生涯学習センター1階市民展示センター
住所 釧路市幣舞町4

編集後記

昨年度は、コロナの関係で、様々な計画の変更を余儀なくされました。先行き不透明ですが、今年度の計画がスタートしました。写真を楽しむ日常を大切にしたいものです。(田本・香取)